玉連集 全

レ

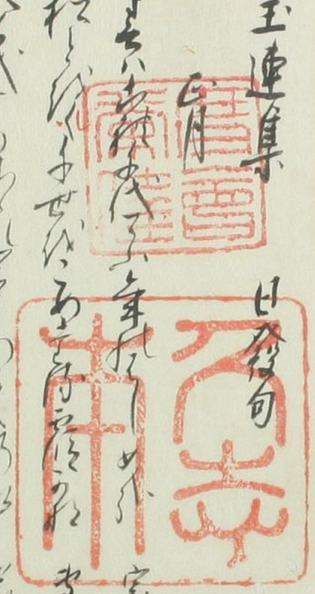
十二番

伊地知文庫
文庫20
13

久志本常彰蔵書

伊地知氏書册

玉連集　日發句



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

桃

相

水

永享十二年正月廿一日一方

寂静寺

[illegible] 加
[illegible] 円
[illegible] 忙
[illegible] 心
[illegible] 忙
[illegible] 円

和月

[illegible] 忙
[illegible] 心
[illegible] 忙
[illegible] 迚
[illegible] 忙
[illegible] 加
[illegible] 忙
[illegible] 円

後

河波や[illegible]

七夕寺余花十ノ雪よ　南

郭公[illegible]もまちもの海山小　忙

杉田川市兵衛宅更亭

[illegible] 杉
[illegible] 迚
[illegible] 忙
[illegible] 南
[illegible] 忙
[illegible] 加
[illegible] 杉
[illegible] 迚
[illegible] 杉
[illegible] 心

送

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 同
川越の[illegible] 同
[illegible] 心
[illegible] 同
[illegible] 御
姫路のうち[illegible] 外[illegible] 御
[illegible] 心
[illegible] 同
[illegible] 心
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同

[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同

六月

[illegible] 御
[illegible] 同
[illegible] 同
三輪水は [illegible] 御
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 心
二条[illegible]の[illegible]
[illegible] 心

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神酒なれて長い夜の明け方
蜩の鳴き暮れ心
名月を一句に詠ん和歌
朝寒に明け方の空に南
枝に咲く桜の花も初
咲くと戦くと咲のも
強く咲き乱れ桜の花も同
萩の枝に咲き乱れ庭
咲くと咲く咲く咲く

秋萩や八重の露にかくれぬる　砂

神垣や秋萩寄せの袖の露　砂

あるとはなくくさ葉の花　同

色つゝ義あり手ぶり　砂

そゝ合ゝ秋の初ねゝ　迦

秋の雲ゝ雁の花ゝ　砂

秋萩をかつゝ咲ゝ　砂

おゝそゝ義の秋ゝ　心

苅萱ゝ秋ゝ　砂

秋ゝ雲ゝ無ゝ　迦

山路の秋の夕ゝ　砂

いゝ秋ゝ雲ゝ　同

紅のゝ秋ゝ　同

月ゝ秋ゝ　同

月ゝ秋ゝ　砂

雲ゝ月ゝ　迦

月ゝ秋ゝ　砂

秋の月ゝ　砂

月ゝ秋ゝ　砂

月ゝ秋ゝ　砂

月ゝ秋ゝ　砂

秋ゝ月

[illegible]

月

七月の長雨やみて千代の橋　伽

[illegible]　忙

[illegible]　同

[illegible]　小

[illegible]　同

[illegible]　小

秋寒に茅屋をはく河内山　徒

[illegible]　南

山の海苔をとるのよしの　行

伏人のおちつく月の雲の色　沙

[illegible]　心

[illegible]　南

月と長崎を書こそ秋の月の秋　忙心

[illegible]　沙

月をそそぐ秋の月の[illegible]　南

いとよの月の[illegible]　忙

秋たれば月のいとせ長き秋　沙

[illegible]　沙

[illegible]　伽行

[illegible]　沙

[illegible]　忙

小車[illegible]の[illegible]　伽

[illegible]　同

[illegible]　南

かなしさに堪へかねて
秋の夕ぐれ
枯れゆく草の
葉の
月
秋の風
虫の
秋の
夕ぐれ
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月

十月

冬来て
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月

永享五年十月廿三日山家記

悲利家

もとめもとめ
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月
秋の
月

[illegible] 同

[illegible] 丑

[illegible] 砌

[illegible] 砌

[illegible] 砌

[illegible] 順 砌

[illegible] 衍 砌

[illegible] 同

[illegible] 砌

[illegible] 砌

[illegible] 同

[illegible] 砌

[illegible] 同

[illegible] 砌

[illegible] 空 同

[illegible] 砌

[illegible] 心 同

[illegible] 同

[illegible] 砌

月は雲にかくれて
月はのぼりけれども
初雪を
白雪のまことに
雪ふる枝
陸奥
花の
雪やふる
江
浪の
加

山もとの
武山
宗伽新付
十二月
月
水
南
月
水
加
水
加
南
加
月
水
加

[illegible]

[illegible]

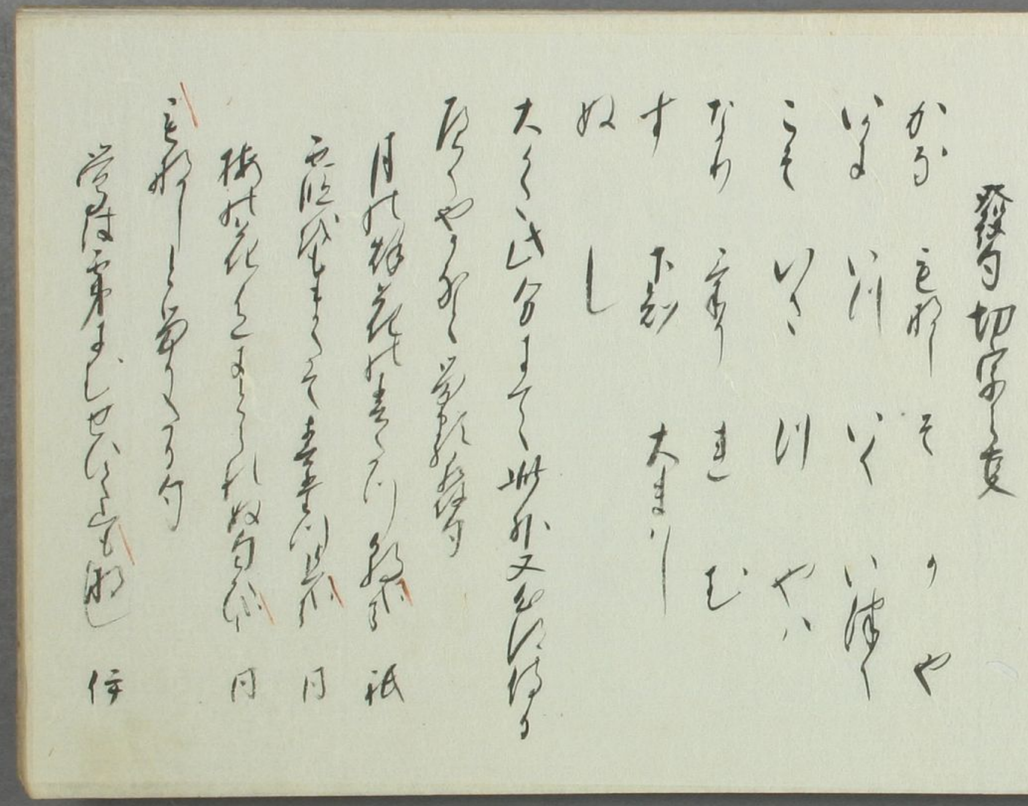
[illegible]

世各發句其數雖加河沙予
勸動修之暇選執所見聞之三
百六十余句區別四季準日
發句蓋其志為後昆記之而
已

永正九年壬申臘月十七日書之

弘治六年癸丑正月吉日

宮内省図書寮本に依って校合



世にまれなる千あの紫式部
紅葉賀まきのうへ
花宴の巻
あさがほ
乙女
玉かづら
初音
胡蝶
蛍
常夏
篝火
野分
行幸
藤袴
真木柱
梅が枝
藤のうら葉
紅
柳
蜻蛉
夕
花散里
須磨
明石
澪つくし
蓬生
関屋
絵合
松風
薄雲
朝顔
少女
玉鬘

[illegible]

紅の[illegible]乃梅　行

[illegible]　和

[illegible]　同

[illegible]　長

[illegible]　紙

[illegible]　行

[illegible]　同

[illegible]　紙

[illegible]　和

[illegible]　我

[illegible]　行

[illegible]　同

[illegible]　和

[illegible]　我

[illegible]　紙

[illegible]

寿をいはの元はるの人　以

花を紫に染りて咲ける　敬

雪ふりこそ寺はまさる

す

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いろはにほへとちりぬるを
わかよたれそつねならむ
ういのおくやまけふこえて
あさきゆめみしえひもせす

二五　三位の事

山はさくらもまたしらぬ人
花ハ二度ハ見ぬ人
ちりぬるを　ちりてみたれ
山はさくらもまたしらぬ
花ハ二度ハ見ぬ人
今ハ　ちりて　陰ひ　花　ちりて
世かてみと　ちりぬる
て　花　陰可　事　花
朝　ちりて　雲

此　月　桂の　日　年　戒　写　真　西

一首に寄る付侍　法眼寿順

春十首

人の世の花の盛りは昨日とも思へば世中
の人の行末の春の色もいとのどかなる
色にもあるかな春の年若くもあるかな
春の人と春の心は我もとくるる
梅の花匂ひ深くもとくるかな
待ちし山の雪の消えぬ
行末をとはむ山の雪
花の川の流れ岡の柳と清き水
吉野山の桜の花の散りぬ
春の朝の雲の八重の花

廣野山荒れ山にけりて
春雨の降りの宣旨とゝ
なれとも播磨絶えハいと
待ち遠くこの春雨

夜十句

夜もすがらの荒海き捨
播磨灘ハ和ら波ハ
ゆるぎもなく波とゝ
乗ハそのまゝ
なりもなく山ハ
なりもなく
海ハ
いきなり
夜ハ
海ハ
夜ハ
の

[illegible]

冬千句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雄三年春四月己酉朔壬子[illegible]
[illegible]千年根[illegible]
[illegible]
[illegible]

いろ〳〵思ハ是ハこゝろ
真の義をとき給ふ法華經
法華經ハ一切衆生の父
母なり乃こゝろ
そなはるこの神の是を生ず
なり此ハ神なるゆへ